

石岡市議会 議長賞

「明るい未来へ」

石岡中学校 一年 佐藤 茉希（まろ）

私たちは毎日、安心して学校に通い、家に帰り、家族や友達と過ごしています。でも、テレビのニュースやネットでは、悲しい事件や不安になるような出来事がたくさん報道されています。子どもによるいじめや万引き、大人による詐欺や暴力など、犯罪や非行は決して遠い世界の話ではなく、すぐ近くでも起こりうることなのだと感じるようになりました。

私は以前、学校の先生が話してくれたある話が今でも心に残っています。それは、ある中学生が友達に無理やり万引きをさせられ、それが原因で非行に走るようになってしまったという話です。

この話を聞いて、私はとても胸が苦しくなりました。悪いことをしてしま

ったことは確かですが、もしかしたら、誰かがその子の話をきちんと聞いていたら、ちよつとした勇気をくれたら、結果は違ったのではないかなと思いました。犯罪や非行を防ぐには、ただ厳しくするのではなく、人の心に寄り添い、助け合うことが大切なのだと感じました。

犯罪や非行に走ってしまう人も、もしかしたら心の中で「誰かに気づいてほしい」、「助けてほしい」と思っているのかもしれない。だからこそ、私たち一人ひとりが「無関心」ではなく、「思いやり」のある行動をすることが大切だと思います。

私の学校では、「あいさつ運動」や「思いやり週間」など、人とのつながりを大切にしている活動が行われています。

す。朝、「元気！」「おはようございます」とあいさつするだけでも、心が明るくなったり、「今日もがんばろう」と思えたりします。小さなことかもしれませんが、こうした積み重ねが、犯罪や非行を防ぐ力になるのではないかなと思います。

私は、犯罪や非行のない社会をつくるためには、「人と人とのつながり」、「思いやりの心」、「正しい行動を選ぶ力」が必要だと考えます。そして、それを支えるのは、家庭、学校、地域が一緒になって子どもたちを育てていくことです。大人がただ「ダメなこと」「ダメ」と言うのではなく、「どうしたらよかったのか」、「何が正しいのか」を一緒に考えてくれる社会が理想です。みんなが少しずつでも優しさを持

って行動することで、確実に変わって
いけると私は信じています。小さな声
かけ、小さな助け、小さな優しさが誰
もが安心して暮らせる未来をつくる
のだと思います。

今の私にできることは多くありま
せんが、友達や家族を大切にすること、
困っている人がいたら声をかけるこ
と、自分の行動に責任を持つことなど、
日々の生活の中でできることから少
しずつ取り組んでいき、正しい行動を
選べるように努力したいです。

そして将来、誰もが安心して笑顔で
暮らせる社会をつくるために、自分な
りの役割を果たし、自分の言葉や行動
で誰かの心を救えるような人にな
りたいと思っています。

